



石塚アポロ県政活動報告 県政レポート

アポロ2号

2012.8.1 第2号 発行人/石塚吾歩路

ごあいさつ

皆様こんにちは。1号、特別号に続き、県政報告アポロ2号を作りました。県議2年目に入り、皆様からのご意見・ご要望も多く頂戴し、愛知県やこの地域の発展の為に、日々努力をしております。今年度は、文教委員会と安心安全対策特別委員会に所属となりました。

暑い日もまだまだ続きますが、皆様におかれましても、どうぞご自愛ください。



自熱した議論を交わす議場全景

一般会計補正予算

歳入		災害救助負担金です	
款	補正前の額	補正額	計
7 分担金及び負担金	13,466,386	47,515	13,513,901
13 繰越金	600,001	△133,254	466,747
歳入合計	2,255,226,000	△85,739	2,255,140,261

歳出			
款	補正前の額	補正額	計
1 議会費	3,278,523	△133,245	3,145,269
5 環境費	6,949,966	0	6,949,966
9 建設費	168,018,804	47,515	168,066,319
歳出合計	2,255,226,000	△85,739	2,255,140,261

5 環境費の内訳	
1 災害廃棄物受入検討調査費	△69,458,000
2 災害廃棄物受入検討推進費	69,458,000
(1) 住民説明会等開催費	21,530,000
(2) 広報費	15,984,000
(3) 試験焼却実施費	31,944,000

95号議案 修正動議を可決

105号議案
修正動議を可決
（はしご付消防ポンプ自動車）
公安委員会の委員の選任について

100号議案
101号議案
102号議案
103号議案
104号議案
（絵画）
について
愛知芸術文化センター条例の一部改正について
愛知県環境影響評価条例の一部改正について
財産の売払いについて
物品の買入れについて
職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

6月定例会が6月18日より7月5日まで行われ下記議案が

上程され、95号議案以外は全て可決されました。

6月議会定例報告

6月定例会が6月18日より7月5日まで行われ下記議案が
上程され、95号議案以外は全て可決されました。



美和柔道会 生徒募集

指導者も同時募集

毎週火曜日・金曜日
19:30~
あま市美和中学校
武道場にて

8・9月、
学生のイン
ターンを受
け入れます。
から進む道
の幅を広げ
ていただけ
ると嬉しい
限りです。



インター
ン受け入れ

北朝鮮問題
全国一斉街頭演説

今後の活動予定
ボーリング大会
9月1日(土)

恒例の親睦ボーリング
お子様の参加も可能です

石塚アポロ一般質問予定
9月26日(水)27日(木)28日(金)いづれか



AGCゴルフ大会
賀詞交歓会
1月1日(火)
11月6日(火)



アポロのブログ

石塚アポロ 検索

アポロ後援会 検索



事務所連絡先 Tel.052-445-1921 Fax.052-445-5358

<http://aporo-kouenkai.com/>

自由民主党 代表質問

(質問者 杉浦孝成総務会長)

災害廃棄物の受け入れに向けた取り組み

質問

我が党県議団は、災害廃棄物の受け入れ検討にあたっては、地元や県民の皆様の意向を尊重し、理解が得られるよう最大限の努力を講じることを強く求めました。

被災地の状況は、現在大きく変化し、国は災害廃棄物の量を見直し、広域処理の必要量は約4割減少し、今後処理率が上がつてくることが見込まれる。

そこで、県内3ヶ所に仮置場、焼却施設、最終処分場を設置され、災害がれきの最終処分場予定地



災害がれきの最終処分場予定地

このような景気情勢などを踏まえ、本年度の県税収入についてどのよな見通しをしているのか。

また、財政調整のための基金は枯渇し、来年度に向けて、財政運営は厳しくなっていくと考えられるが、今後の財政運営をどのように考えているのか

盛り沢山の勉強会

(愛知県連政治塾)

自治大学院 第11期開



安倍元首相と
小泉衆議院議員の講演



自民党きっての政策通
林芳正参議院議員と



安倍元首相と
小泉衆議院議員の講演



● 中小企業対策
● 南海トラフの巨大地震被害予測調査
● 交通事故死者数の減少に向けた取組み
● 医療計画の見直し
● 本県農業の海外展開について
● 名古屋圏における広域的な幹線道路の整備促進について
なども質問



● あま市・大治町・蟹江町・飛島村で、公的な研究会が立ち上ります。1市2町1村で広域的な行政間の連携や名古屋市との関わり合いなどを話し合います。

文教副委員長として

24年度は文教委員会に所属して、副委員長を仰せつかりました。

委員長を補佐して、円滑な委員会運営に取り組むとともに、教育部局の建設的な議論を深めていきたいと考えております。



副委員長席に座つての文教委員会

安心・安全対策特別委員会

7月20日、第一回目の特別委員会が開かれ、本年度の交通安全対策について議論されました。

付託された案件はありませんでしたが、陳情2件と多くの委員の一般質問がありました。

災害廃棄物処理をめぐる経緯

- 3月18日 知事が震災がれき受入を表明。
- 4月 5日 調査費などの支出を、議会の議決を経ない専決処分で行う意向を表明。
- 5月23日 臨時会で専決処分を承認。受け入れ調査に関する決議案も可決。
- 6月15日 受け入れに関する市町村長会議。知事は試験焼却を依頼。
- 7月 2日 自民党県議団が、補正予算の修正動議を提出。
- 7月 5日 6月定例会最終日。自民の修正動議を可決。知事は再議に付する意向を表明。
- 7月14日 臨時議会 修正案否決、原案可決

自民党ががれき受入の県の予算案を認めず、一部を削除した修正案を可決したのも、知事が本気で議会の理解を得ようと努力しているのか、疑問を抱いているから。

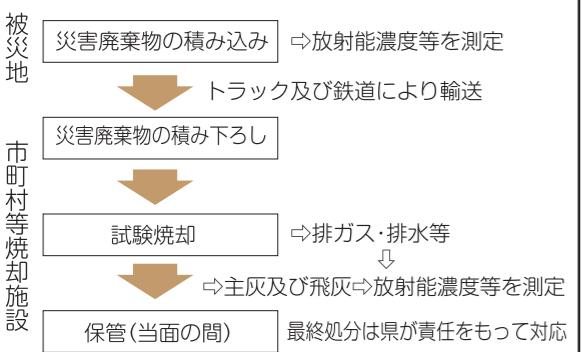
知事は二月定例会で受け入れに積極的な態度を示さなかつたのに、ほどなくして受入を表明しました。議会の議決を必要としない専決処分で調査も始めた。自民の修正案に反対した民主党議員でさえ、五日の本会議で「修正案が提出されたのは、知事たちに真摯な姿勢が欠

けていたからだ」とたしなめた。テレビカメラの並ぶ記者会見場で大儀を語つただけで物事が前に進むほど、世の中は単純ではない。七月の臨時議会では、知事の考えを最大限配慮したが、これから市町村での試験焼却や県内三ヶ所での処分場設置など知事の本気の対策がこの問題の大きな力となることだろう。



東京都にて教育問題、がれき処理対応を勉強しました。

災害廃棄物処理をめぐる全体の流れ



私の選挙区で

先日、新栄にあるMIDFMで寺西県議の番組「むつみのスーパーチューズデイ」に出演。あま市のまちづくり大好きな皆様方と熱く語り合いました。この地域にも近々コミュニティFMが。

コミュニティFM

